

平成25年5月吉日

青年部会員各位

広島商工会議所青年部
会長 松田 哲也
ホスピタリティ委員会
委員長 石田 知美

広島商工会議所青年部 「6月例会」の開催について
(ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より青年部事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

人と人との「つながり」。私達がビジネスを行う上で、もっとも大切なものの一つです。
あなたは大切な人のことをどのくらい知っていますか？

『何をしてあげると喜んでくれるのか?』『どんな口説き文句なら、信じてくれるのか?』

講師の佐藤尚之氏は、ソーシャルメディアを使って人と人をつなぐコミュニケーションの専門家です。電通時代の代表作『スラムダンク1億冊感謝キャンペーン』は、読者の人たちが本当に求めていることは何なのか、喜んでくれるものは何なのか、徹底的に突き詰めて、それを彼らだけに伝わる方法で告知した、非常にユニークな広告キャンペーンです。

後に『伝説』といわれるこのキャンペーンを創り出した佐藤尚之氏の、「大切な人」に対するおもてなしの心を、ぜひ皆様も味わってみてください。

- 大切な人に、「モテる方法」 教えます。

皆様におかれましてはお忙しいとは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご参加くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

敬 具

記

日 時 平成23年6月27日(木) 18:00~19:35 講演会
19:45~21:00 懇親会

場 所 リーガロイヤルホテル広島 「ロイヤルホール」 講演会
「クリスタルホール」 懇親会

内 容 1. 講演会
テーマ「ソーシャルメディア時代の新しいコミュニケーション」
講 師 株式会社ツナグ 代表 佐藤尚之氏
2. 懇親会

佐藤 尚之 氏

プロフィール

コミュニケーション・ディレクター
株式会社ツナグ 代表
公益社団法人「助けあいジャパン」会長
内閣官房政策参与
学習院大学非常勤講師
上智大学非常勤講師



1961年東京生まれ。1985年電通入社。コピーライター、CMプランナーを長く経験した後、ウェブ・プランナーを経て、コミュニケーション・デザイナーとして活動。次世代ソリューションを考察・実行する「サトナオ・オープン・ラボ」を主宰。

2011年4月に電通を退社し独立。「広告領域以外にも様々なところで生活者と関係をつくる」ことを専門に、ソーシャルメディアを中心とした次世代ソリューションを提供する株式会社ツナグ (<http://tsunagu-net.jp/home.html>) を設立。

JIAAグランプリ、新聞広告賞グランプリ、広告電通賞金賞、ACC賞など受賞多数。代表作は「スラムダンク1億冊感謝キャンペーン」（「星野仙一優勝感謝新聞広告」）、「NECショートフィルム『it』」など。

内閣官房「国民と政治の距離を近づけるための民間ワーキンググループ」メンバーとして鳩山内閣に関わった。東日本大震災後、仲間と「助けあいジャパン」 (<http://tasukeaijapan.jp/>) を立ち上げ、現在会長を務める。

1995年より個人サイト「[www.さとなお.com](http://www.satona.com)」 (<http://www.satona.com/>) を運営。1日に約4万アクセス(13年春現在)。フォロワー数は、Facebook 16,808人、ツイッター 70,411人。

本業関係の著書としては「明日の広告」「明日のコミュニケーション」（共にアスキー新書）がある。「明日の広告」は、9万部超のベストセラー。本業以外に「さとなお」の名前で食や旅のエッセイを多数出版。

登録料 5,000円(当日受付にて申し受けます。)

キャンセルされる場合は3日前までにご連絡下さいますようお願いいたします。
以降のキャンセルにつきましては、会費徴収させていただくことがありますので
ご了承下さい。

出欠回答は6月13日(木)までに事務局宛ご返信下さい。

(出欠の如何に関わらず、必ずご返信いただきますようお願いいたします)

懇親会では酒類を供しますので、ご本人運転のお車でのご来場は、お控えいただきますよう
お願いいたします。

広島商工会議所では、地球温暖化防止のための環境行動の一環として、5月13日～10月
31日の間、夏の軽装運動を実施しております。趣旨ご理解のうえ、軽装でご出席いただけ
ば幸いです。

【 事務局 】

〒730-8510 広島市中区基町 5-44

広島商工会議所 中小企業振興部内(担当:吉岡)

TEL:082-222-6661 FAX:082-222-6006

E-mail:yeg@hiroshimacci.or.jp HP:http://www.h-yeg.jp

以上